



夏が終わって
さあ、行こう！



私たちの挑戦や取り組みを友人や知人、関係者などに伝える「広報宣伝ボランティア」として
日常の中で話していただけないでしょうか。 代表理事 平賀 貴幸

誰もが地域で
あたりまえに
暮らせるために



いつも私たちの活動や挑戦に対してご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、とむての森では現在、働き方改革を進めようとしています。スタッフとまだまだ調整をなくてはなりません、「働きやすい職場であること」と「皆さまのニーズにこたえられる法人であること」をどう両立するのか。これは新たな挑戦だと思っています。

今、福祉の現場では募集しても人が集まらないという状況が発生しています。理由はそもそも労働人口が減少しているという問題があり、そこに福祉の現場で働くことに対するイメージの悪さや情報不足があいまってこのような状態になっ

ているのだと推測します。

だからこそ「地域の課題解決に夢をもってチャレンジできる職場であること」「会員の皆さまや地域の皆さまに積極的に情報発信し、開かれた運営体制で共に歩むこと」「有給休暇の完全消化や処遇改善、子育ての支援などに積極的に取り組み、『この法人で働けて良かったな』と思える法人であること」「サービスを必要とされる方々の満足度を高める努力を続ける法人であること」などを目指しながら改革を進めてまいります。

そのうえでお願いがあります。皆さまにおかれましては、ぜひとも私たちの挑戦や取り組みを友人や知人、関係者などに伝える「広報宣伝ボラン

ティア」として日常の中で話していただけないでしょうか。

私たちの活動を知ることによって障がいのある方々の活動の場が増えたり、理解が広がることにつながるようになると思うのです。できるだけ積極的に情報や話題を提供できるように、私たちは話し合いを重ねながら挑戦を進めてまいります。

「人口減少社会は障がいのある方々にとって働き手や、地域の担い手として活躍できる機会を生み出す可能性に満ちたものである。」

私たちは、このようにとらえて今、新たな歩みを進めてまいります。どうぞ私たちのチャレンジを応援いただければ幸いです。



就労支援事業所すてっぷ

文/ 田中ちえみ

今年の夏は、7月の猛暑日を過ぎるとすっかり肌寒くなってしまい、もう少しカラッと暑い日があってもよかったなあと思ってしまいます。猛暑日が続いた時期は利用者さんもスタッフもすっかり暑さで参ってしまい、中には熱中症が疑われる症状が現れた方もいらっしゃいました。3点クーリングや涼しい場所で横になり水分補給などの対応を行いました。今後も気温や利用者さんの体調等考慮し、予防に努めていきます。

毎年夏の恒例行事のすてっぷ・ほっぷ合同の利用者さん、保護者さんとスタッフの交流焼肉会も無事に開催する事ができました。心配していたお天気にも恵まれ、テントやいすの設営、材料の買い物や野菜切りなど利用者さんも準備中からウキウキしていました。普段なかなかゆっくり話す事ができない保護者さんとも、利用者さんの家やとむてでの様子等情報交換する事ができ、有意義な時間を楽しく過ごすことができました。

さて、先月お知らせしたABAの手法を取り入れた支援の取り組みを8月から始めています。始業時間や休憩時間、作業再開5分前などにチャイムが鳴るよう設定することで、今までは何となく時間になってから準備をしていた

利用者さんも早めに準備を始めたり、時間を意識するきっかけになったようです。

利用者さんによっては時間を記入した予定表を用意し、長く取り過ぎていた休憩時間が少しずつ短くなり、早く作業に取り掛かれるようになってきました。時間通りに来られた時は、担当スタッフも感動してしまいました…!!

帰りの会ではみんなが今日1日行った作業を報告しあい、終業の挨拶をして解散になります。みんなが元気にそれぞれの作業に取り組み、清々しい笑顔で帰っていくのを見ると今日も1日いい日だったなあ嬉しくなってしまいます。今後も利用者さんがいきいきと作業に取り組めるよう、工夫を重ねていきます。

美味しい。たのしい。



memory

みんなでつくった短い夏の思い出。



成長の夏でした。

アイス選びも、お会計も、自分でできました。



ホームヘルプサービス事業所 どんぐり

文/ 向井章人

行動援護の利用者さんは風邪をひくこともなく元気に過ごすことが出来ていますが調子に波があり、急に泣き出してしまったり、イライラしてスタッフに向かってきてしまったりと不安定に過ごす日が稀にあります。しかし、作業は集中できるようにアルミ缶を大量に踏む姿が見られ、プールや温泉等の外活動も調子を崩すことなく楽しそうに過ごす姿も見ることが出来ています。

かなり前の話になりますが勝山温泉「ゆうゆ」が再開したみたいです。1人用のお風呂もしっかりと残っており、露天風呂にはアブ対策のネットも完備されているようです。

行動援護で利用している温泉施設は津別温泉「ランプの宿」のみの利用となっているので気分転換にゆうゆに行かせたい・行きたいという方がおられましたら気軽にスタッフに相談ください。



移動支援事業所とろっこ

文/ 山川圭一

今月は7月末に行われた放課後等デイのイベントに、移動支援を利用して一緒に参加した児童のTくんの様子をご紹介します。

イベントは『海へ行こう』でしたが、あいにくの天気で、代わりに「道の駅おんねゆ温泉」で『アイスを買おう』に変更になりました。道の駅に着くと、さすが夏休み中だけありアイス屋さんは混んでいましたが、Tくんはきちんと並び順番を待ち、黒ゴマアイスを選んで

買って食べています。たくさんある種類の写真から本児が指をさして選び、店員さんにしっかりと伝えていました。お会計も声掛けなしで行い、アイスを受け取り、残暑の中とても美味しく、みんなと一緒に涼んで食べていました。

【お願い】支援に関しまして日時・時間などの変更がありましたら、早めにご連絡をいただけますようお願い申し上げます。





熱さは
過ぎたが
アツい日も
あった
あの夏。



© 蛸子陽太 (stusio@BREMEN)

日中一時支援事業所
つくしんぼ

文/ 菅波 大輔

去る8月某日、生活介護「ほっぷ」とのコラボ企画として、成人の利用者さんやスタッフと一緒にとむでの畑「こんね」で草刈りをしてきました。

到着時から各自発的に動いており、正に適材適所を地で行くような様子がみられ、自分たちの得意とするスタイルを確立しつつ作業に取り組む姿に感銘を受けたものです。家で普段から庭の手入れをやっているというしゅんこうハウスのメンバーは、器用に鎌を操り、ポーポーに生い茂った雑草をいともたやすく刈っていました。

また別のメンバーは一心不乱に集中し、黙々と手で丁寧に草を抜き取っています。その後はトマトの収穫なんかもしちゃったりして、猛暑の中でも最後まで楽しく活動できたと、子ども達も話してくれました。

僕も草刈りに夢中になりながらも子どもたちの活動の様子を伺っていましたが、出来ることは多いんだなあ、とか、自分が思っている以上に子ども達の能力は高いもんだなあ、などと改めて思い、普段の子ども達の能力を過小評価しているのではないだろうか…その結果出来ることもできないと勝手に判断して、口数も多く止めている事もあ

ったんじゃないだろうか…というような振り返りや発見などもあり、僕にとっても収穫のあるイベントでもありました。子ども達自身の能力の向上はもとより、「この子たちはこんな事もあんな事もできるんだぞ！」と広く外に周知するため、様々な場所で人と関わり、色々な事にチャレンジをさせられるような環境を今後も作ってあげたいと考えています。ちなみにこの日はハウスに戻ってから全員ツクのボーナスを受け取り、皆嬉しそうにハウス内でお買い物をしていました。



編集チーム番外編

菅波、“ひととなつ”の経験。

いつも違う業務に汗を流しながら、利用者さんからも多くを学びました。その汗は、暑さのせいだったのか、冷汗だったのか……(笑)

楽しかった
夏の思い出が
またひとつ。



「僕の夏休み | 宿題の自由研究をしてみたいで。」



8月26日～27日に枝幸町で開催された「ごちゃまぜ地域アート」に参加してきました。

この「ごちゃまぜ地域アート」のメインイベントは「モザイクタイルアート」です。モザイクタイルアートとは、カラフルなタイルを壁や土台に貼って、絵柄や模様を表現するアートです。

彫刻家の原田ミドー氏を招き、みんなでベンチに「モザイクタイルアート」をしていきます。ベンチも土台から作製され、このベンチの形には「カモメ」がイメージされているとのこと。

タイルに専用のボンドを塗り、ベンチに張り付けていく。これを参加しているみんなで行っていきます。丸い形のタイルを並べて張り付けていったり、切り出された様々な形のタイルをパズルのように組み合わせ、当てはまるスペースに張り付けていきます。簡単そうに見えて難しい。難しいのだけど楽しい。ひとつタイルを貼ったら、次のタイルを貼りたくなる、そんな作業を繰り返していきます。

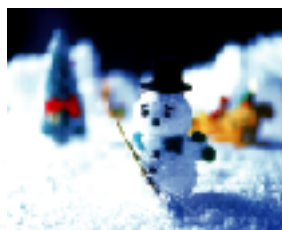


飛び入り参加OK！途中退出OK！出入り自由！みんなでひとつの作品を創り上げていきます。参加者それぞれの作業が全体の作業に結び付けていくのです。

となりで作業しているのは、さっき簡単な挨拶をしたばかりの名前も知らない方。だけど自然に声を掛け合ったり、意見を出し合ったりします。「ボンドが足りない人いませんか？」「誰かここを手伝ってー」などなど。

道具の貸し借りやタイルの色、タイルの形、全体のバランスなどを一緒に考えて、一緒に創る。大人だとか子どもだとか、障がいがあるとかないとか、男だとか女だとか、ごはん派だとかパン派だとか、そんなことは関係ないのです。まさに「ごちゃまぜ」。とても居心地の良い空間でした。

文/ 井上涼太



YUKO'S TSUBUYAKI

**暑さ寒さも
彼岸まで。**

文/ 弓山祐子

「今年はなかなか暖かにならないね～」なんて言っていたのは6月も終わる頃だったかと…

そんな会話も忘れてしまうくらい猛暑の日々が続き、私事ですが生まれて初めて「熱中症」という経験もしました。

「昔はもっとカラッとした暑さだった」という言葉が聞かれますし、自身もその時代を経験しているので、今年のジメジメした暑さには身体がついていきませんでした。要するに年を感じるということなのですが…。

そんなことを思っていたら、あっという間に朝夕の冷たい風を感じる今日この頃…「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったものです。今度は「今年の冬は雪が少なくて助かるわ～」とつぶやきたい。

ART CREATION PROGRAM



今に至る過程。
そして、この先に見えるもの。
ROOTS! ROOTS! ROOTS!

2017.09/30sat—12/10sun
10:00am—19:00pm
※最終日は14:00まで

かたるべの森美術館
上川郡当麻町伊香半2区
入場料 300yen



GO FOR IT

味覚の秋と芸術の秋、いよいよ本番へ。



夏も終わりに近づき、児童課は夏休みの多忙を終え、これから日常の支援風景に戻る。その一方で就労訓練課はこれから約2ヶ月が本番だ。

そう味覚の秋と芸術の秋。

ローフには秋の味覚がパンや料理となり店を賑わせ、こんねは天候との戦いで収穫に挑む。プレーメンは今月2ヶ所の展示が続き、初夏より進めていた年賀状関係の年末と新年に向けたアイテムの準備が最終段階になる。

どの部門もスタッフみんなが一生懸命に取り組んでいる。ここで言っているのは、直ぐ出る結果を期待したり、ここに綴って脅している訳ではない。

良いことも悪いことも含め、人間何事も経験だ。良い結果が出る人は、笑顔と笑い声が多く、陽に満ちており、福を招く。逆に上手くいかない人は、愚痴が多い。態度が悪い等の理由からトラブルを自ら招き、闇が濃くなり、周りから敬遠され孤立していく。転換期や低迷期にこの手の人が周りにいるとまず上手く行かない。人間は、周りの環境に直ぐ左右され、染まりやすい。

ただ、愚痴や悪意に関して、最近面白いものを見つけた。

プレーメンのアーティストの一人に文字をノートに書き、文字の練習をしている方がいる。9割方は普通の字の練習。ただ違うのは、韻を踏んだ文字列と時々現れる辛辣な内容。

生活の中では良いことも悪いことも含めて生活だ。そのノートにたまに現れる辛辣な内容は不思議と嫌悪感を抱かず、面白さのみが印象に残る。

一冊を集中して読み切れるくらいだし、逆に辛辣な語句を探してしまう魅力がある。普通の語句と語句の間に突如現れるダークワード。一体ここで何が有ったんだと興味が湧いてくる。

本人に聞いても「別に～」の微笑み返し。色々謎の多いそのアーティストのことを私は文字の練習をしている時だけ「書道ラッパー」と呼んでいる。

生活過程から生まれ、綴られるその文字列は、この「とむての森通信」よりも格段に面白く、リアリズムに満ちている。このノートは9月の展示で初登場する。

また、周りとの距離に一線を引き、黙々と表現するアーティストが数名いる。

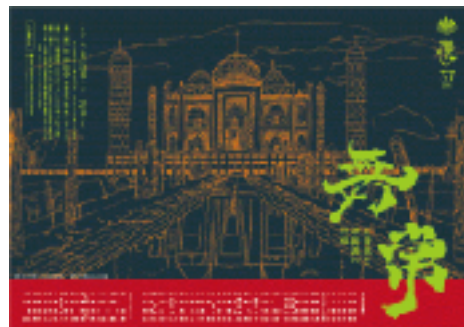
他のアーティストが楽しそうに騒ぎながら面白可笑しく創作していることが決して悪いわけではない。楽しくできているのはとても良いことだ。だが、黙々と創作しているアーティストとの差が徐々に開き始めているのは事実で、確実に表現スキルが上がっている。彼らの共通する点は、飾ることを全く考えていない。そのため、自分にしか分からないルールがあり、時間をかけて聞き取りをしないと正しく理解できないことが多い。そんな彼らは、休むことなく3時間作り続け、必然かのように創る行動が早い。そう彼らは本当のアールブリュッター。作っている時の集中力と生み出すスピードが凄まじい。発するオーラ(気)が強烈で凄みを感じるのか周りもあまり声を掛けない。

アーティストも創作習慣が馴染み、スタイルが確立しつつある。今後の改善として、グループ分けしなくてはいけなくなる。きっとお互いにやり辛いはずだ。ただ、分けてしまうと感化される機会を奪ってしまう。そう、通常の日程とは別に限定的に特別日程を作る方が望ましい。特に展示の前の1ヶ月間は重要で、精度を上げるために感性を研ぎ澄ます時間が必要になる。

今年度からは、展示作業スタッフも一新され、9月の展示が初めてになる。彼らもまた、新しい取り組みに足を踏み入れ、今までの価値観が崩壊し、多角的な角度から物を捉えなければならない状況を否が応にも経験することになる。

アーティストとキュレーターの根源 rootsは同じで表裏一体の存在である。「何かに魅せられ生まれる衝動の形(作品)」と「魅力を引き出し、作品に含まれる想い(空間)」を展示で観せる。額の選定、配置、トータルでの見え方などを全て含んで初めて展示会になる。個を楽しめ、集で纏める。両者とも行う作業は異なるが「芸」として見ると元は同じ諸行無常だ。プレーメンは落ち着き、振り返る時期ではない。今月からが爆発の時期になる。

文/ 伊藤栄一



正統派と革新派の共鳴
「無常」

2017.09/16sat—09/23sat
09:30am—16:30pm
※09/21は休館日

置戸町 弘法寺
北海道置戸町字置戸226-1
入場無料



8月の「morph-tokyo」
掲載は蛸子陽太さん。
東京のライブハウスが発行する月刊誌5月号の表紙は、専属契約作家「蛸子陽太」さんの絵画が飾りました。

この春から進められてきた「2018年年賀状PROJECT」所属アーティスト達とキュレーターが二人三脚で取り組んできた作業もいよいよ大詰めにて。COMING SOON



生活支援事業所ほっぴ

文/ 田中豪樹

メンバーは体調を崩すことなく日々過ごすことができている。その秘密は暑さも寒さも楽しんで生活するという事です。

暑い日は蓮池に蓮を見に行ったり馬に餌をあげたり公園の池まで散歩に行ったり、逆に寒い日は少し厚着をして運動公園へウォーキングをしたり朝のラジオ体操をみんなで元氣よく行ったりして

います。利用者さんの中には馬に餌をあげる際にビックリして餌を放してしまったり。ウォーキングから競争になるみんな、競争に負けるスタッフ。

暑さを楽しむ！寒さに負けずに体を動かす！！避暑ではなく納涼を(#^^#) 暑さから逃げるのではなく暑さを受け入れる。季節や天候だけではなく何事にも全力で楽しむ一見簡単そうで難しい事そして大切な事…日々みんなから教えて貰っています。そんな彼女らが楽しめる様これからも【ほっぴ】のみんなが一丸となって頑張っていきます。





笑顔にする人、 なれる人。

パート・正社員 募集中

お近くにお仕事を探している方や、キャリアアップを考えている方などいらっしゃいましたら、ご紹介いただくと嬉しく思います。

障がい児(者)支援員

09:00～18:00 (シフト制)

製菓・製パン製造スタッフ

06:00～18:00のうち、8時間勤務(シフト制)

調理・接客スタッフ

09:00～18:00 (シフト制)

詳しくは、お問い合わせ下さい。(TEL.0157-32-8715)



パートスタッフ

- 〈給与〉 時給 790～1,350円
(職種、資格、時間帯により優遇)
- 〈休日〉 週2日以上(事業所シフトによる/都合に合わせて融通可)。
- 〈待遇〉 各種保険あり。6ヶ月勤務以上は有給休暇あり。勤務評価によっては正規雇用登用あり。
※介護福祉士、保育士免許を持っている方、行動援護従業者養成課程修了者、又は、障がい者(児)支援2年以上の経験者優遇。

正社員

- 〈給与〉 146,000円～
(学歴、資格、経験により優遇)
- 〈休日〉 週2日+祝日分休暇あり(事業所シフトによる)
- 〈待遇〉 各種保険あり。交通費(規定による)。資格・住宅・扶養など各種手当あり。キャリアアップサポート制度あり。
※介護福祉士、保育士免許を持っている方、行動援護従業者養成課程修了者、又は、障がい者(児)支援2年以上の経験者優遇。

旬を食すことは、 四季を感じること、 楽しむこと。



朝夕の気温が10℃前後となり、過ごしやすい季節になりました。小麦畑の麦稈ロールを見るとそろそろ秋なのかなぁと感じます。

秋といえば、「食欲の秋」、「読書の秋」、「スポーツの秋」・・・私は何と言っても『食欲の秋』！！

玉葱に南瓜に芋、リンゴにブドウに梨と美味しい食べ物がいっぱいです。

近頃は、輸送方法の発達や保存方法の発達が進み、日本中、世界中のあらゆる場所から季節外れの食べ物が入手出来るようになりました。また、食べ物を美味しく保存する事も出来るようになったので、一年中好きな時に好きな食べ物

を食べられる様になりました。

『旬』な食べ物は、美味しいだけではなく、栄養もいっぱいです。夏のきゅうりやトマトは熱くなった体を冷やしてくれます。そして秋から冬にかけては体を温めてくれる芋や南瓜などの根菜類が旬をむかえます。

SAIでも旬の野菜が沢山並んでいます。ちょっと珍しい野菜にも出会えるかもしれません。旬を食べる＝四季を楽しむです。是非お近くにお越しの際はお立ち寄り下さい。スタッフ一同ご来店お待ちしております。

文/ 佐藤千鶴子

| コラボして、新メニューに挑戦 |



旬の魚と舞茸・しめじ、その日に採れた自社栽培の野菜と一緒にホイルで包み、蒸し焼きに。秋の香りと一緒にお楽しみ下さい。



旬の魚ときのこ、「こんね」の野菜を使ったホイル焼き ¥1,100+税
※つけ合わせの野菜は日替わりとなります。



NEW ITEM
レモンの皮のほろ苦さ、酸味と香りの印象を際立たせるためにクロワッサン生地を使い、しっとり仕上げました。



こんねの畑も利用者さんと共に汗をかきかき作った野菜の幾つかが収穫の時期を迎え忙しい毎日です。

主にトマトが旬で今年も昨年に増して上々の出来で評判も良いようです。その他にもキュウリ・ナス・ピーマン等も日々収穫量が増し利用者さんと一緒に「大きくなったね」、「色が濃くなったね」などワイワイと

楽しそうに話しあったり、収穫したトマトを味見して美味しいと言い合いながら楽しく農作業に取り組んでいます。

9月中旬には、【味平】というかぼちゃを1000株ほど収穫する予定で、今後も忙しい毎日が続きますが利用者さんと一緒に力を合わせて頑張っていきたいと思います。

文/ 伊丹 勝

LOAF

あっという間にお盆も過ぎて秋の気配を感じるような季節になりました。

LOAFでは5周年を迎え新たな一歩を踏み出した所です。これまで積み重ねてきたことを活かしつつ、新しいことに挑戦していきたいと思っています。お盆にはお店の外装をみんなでペンキを塗り補修し、キッチンの中もみんなが作業しやすいように配置換えをしました。これまで以上に掃除をしっかりと行いいつも綺麗にしましょう！楽しく仕事できるような工夫や環境作りも必要なことだと感じ、少しずつですが研修で学んだABAの手法を考え実践していこうと思います。

文/ 戸井田修一



放課後デイサービス事業所 にんぐる 文/ 成田加奈絵

過ぎてしまえば暑さが恋しい季節となりました。午前中宿題・お手伝いを中心にハウスで過ごしました。みんなでやると、いつもより楽しくお勉強が出来ました。そして午後からは全力で遊びます！外に行ったり、ハウス前でしゃぼん玉やバトミントンをしたり…。今年の夏休み、たくさんの思い出が出来ました。公園に行ったり、すいか割りをしたり…。夏休み満喫！完全燃焼です。こんなに元気いっぱい楽しんだ夏休みが終わってしまうのは悲しいですが、これからもみんなが笑顔になるような活動・遊びをたくさん考えていきます。

夏休み、満喫。



放課後デイサービス事業所 の〜む 文/ 寺澤絵奈

短い夏が終わり、過ごしやすい季節となりました。夏休みのイベントは天気心配される日

も多く、残念ながら今年も海へは行けず、温根湯の道の駅でのお買い物となりました。海へ行けなかった分、ウォーターパークは何とか行きたい。。。と思っていましたが、当日は気温も上らず雨の怪しい天気。。。ギリギリまで悩んだ結果、なんとか無事に行ってきました。

『寒い〜！』と早くあがる子もいましたが、ほとんどの子が時間いっぱいまで水遊びを楽しんでいました。他にも、すいか割りに夏祭り・てんとランドとイベント盛りだくさんの夏休み。子ども達にとって思い出たぐさんの夏休みになったことを願っています。

放課後等デイサービス にんぐる の〜む 10月の予定表 放課後デイサービス事業所にんぐるの〜む 毎週土・日曜日はお休みです。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 *	2 公園	3 絵を描こう！	4 風船バレー	5 シャボン玉	6 カラオケ (500円をご用意下さい)	7 お休み
8 お休み	9 体操	10 しっぽとりゲーム	11 粘土遊び	12 公園	13 スイートポテト (100円)	14 お休み
15 お休み	16 お手伝いを しよう	17 お誕生日会 (100円)	18 まつぼっくり 拾い	19 バターを作ろう (50円)	20 トレセン	21 お休み
22 お休み	23 ぶどうゼリー (100円)	24 紅葉を見に 行こう	25 あんまん・肉まんを 買いに行こう (200円をご用意下さい)	26 切り絵	27 読み聞かせ	28 お休み
29 お休み	30 工作 (ハロウィン) (50円)	31 ハロウィン (100円)	* *	* *	* *	* お休み

なぜ
著名人が
テレビで
100キロ
走ると
共感や
感動が
うまれる
のか



絵:DAISUKE SUGANAMI

今年もほぼほぼ行われたであろう、24時間テレビとその目玉企画でもある100キロマラソン。今年は放送開始まで誰がランナーになるのかわからないという事らしいですが、締め切りの都合もあり、残念ながらこの原稿を書いている時点ではまだ誰かは判明していません。

個人的にはもう何年もこの番組を見ていませんが、中学生の頃あたりまでは毎年観ていた記憶があります。ゴールが近づくたびに紹介される、全国から届いた激励のFAX...おそらく今だに番組終盤で歌われているであろう「負けない」がキーワードのあの曲とあの曲...毎年毎年、大体同じことが繰り返されるこの番組。近年この番組の在り方に賛否両論があるものの、それでも全国で数多くの人々の共感や感動をよんでいます。今回はその源が一体何であるのかを考察していきます。

○視聴者も巻き込んだチームとしての当事者意識
当然ながら超大型特番という事で、この番組では様々な人や企業などが、色々な形でかかわっています。全国から地方まで大なり小なり様々な場所で番組に関わるチームが発生し、そのチームとしての繋がりが、テレビを通して視聴者にも派生しているのではないのでしょうか？

またテレビ放送以外でも放送期間内は各種店舗で募金活動やシャツの販売なども行われており、日常生活の中でもかかわる場面が多いため、どこかしら24時間テレビのチームの一員という感覚が共感を呼び、そのシンボルであるマラソンのランナーがゴールする事で、どのような形であれ自分も関わったという事実が、チームとして何かを成し遂げたという達成感や共有意識を生んでいるのではないかと考えます。

○「頑張る姿」のシンボル化

ランナーが100キロを走るだけではなく、同時に色々な方が色々な事にチャレンジして行くという企画も随所に盛り込まれています。特に障がい者のチャレンジ企画というのがマラソンと並ぶ番組の目玉と化しており、それぞれが「頑張る姿」として具現化され、ランナーがそれらの集大成のシンボルとして、視聴者や番組に関わる人たちに共感を与えているのではないかと思います。

かくいう僕も中学生の頃は、号泣しながらブラウザ管越しにランナーへエールを送ったり、


エンディングで総合司会者が号泣するのを見て、もらい泣きをしていたものです。自分自身を振りかえった時、やはり似たような理由からそうだったのではないかと思います。

この番組は偽善であるという批判が、近年特に挙がってきています。障がい者などハンディを負っている人をわざわざクローズアップして、そういう人たちを特別視して強調し、悪い言い方をすれば社会的弱者をある種の見せ物にしているというような漠然とした雰囲気が、違和感として生じているのも一つの要因ではないのでしょうか。個人的には番組を通じて視聴者に「自分も頑張ろう」と前向きな気持ちが芽生えるのであれば、それはそれで番組の存在意義はあるのではないかと思います。

ちなみにテレビで走っているランナーは数百万貰っているんだろうけど、同じ100キロでも大抵の人はお金を払って走っているんだよね...と、佐呂間某ウルトラマラソンの様子をネットで見て思いました。



連載 |  菅波大輔の言いたいことを言うコラム VOL.05

 放課後デイサービス事業所 ぽっくる 文/ 青山尚実

一気に寒くなったり、暑くなったりと体調等崩されてないでしょうか？急激な温度差についていけず、カゼ引きが多い、ぽっくるです。

今月は夏休みの思い出を少しお話ししたいと思います。夏休みは、いつも頑張っているみんなに楽しんでもらおうとイベントをいっぱい用意しました。祭りに行ったり、網走でんと山に行ったり、汽車にのったりと楽しんで過ごせたようです。中でも汽車は子供たち大好きで、大喜びでした。

ただ、距離も短く、少し不満そうな子供たちでしたが...せっかく時間があるんだから、長い距離にすればよかった〜と短い距離にしたことを反省したスタッフです。今年は北見市内で乗りましたが、冬休みか来年の夏休みはちょっと遠くまで連れて行ってあげたいなと思います。

放課後等デイサービス ぽっくる **10**月の予定表 ※毎週土・日曜日はお休みです。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 *	2 ベーコンエッグ (100円)	3 グループワーク 練習	4 ウォーキング	5 SST 表情伝言ゲーム	6 SSTゲーム	7 お休み
8 お休み	9 お休み	10 ウォーキング	11 電話練習	12 手芸	13 買い物体験 お使いのメモと金額を ご用意をください。	14 お休み
15 お休み	16 ゴミ拾い	17 ジュース作り (100円)	18 ソーシャル ストーリー	19 ウォーキング	20 SST 絵しりとり	21 お休み
22 お休み	23 グループワーク 練習	24 手芸	25 味噌汁 (100円)	26 電話練習	27 ウォーキング	28 お休み
29 お休み	30 ウォーキング	31 ハロウィン (100円)	* *	* *	* *	* お休み

たすけあいのまちづくり

を行うNPO法人です。



古い絨毯を探しています

皆様より法人駐車場の出入口に敷くための古い絨毯をたくさんいただきました。心より御礼を申し上げます。駐車場が大変広いため、雨の日の土の流出を防ぐには、まだまだ必要としています。ご家庭で不要になった絨毯がありましたら、よろしくお願いたします。

古いタオルやシーツをお願いします

法人で使用するウエスが不足しています。古いタオルやシーツなどの寄付をよろしくお願いたします。

■ 先月、このコーナーでお願いをした「空気入れ」、さっそく寄贈をいただきました。ご協力感謝申し上げます。ありがとうございます。

いつもトイレトペーパー・ティッシュペーパー・タオル等のご寄付をいただき、ありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願いたします。

平成29年度
新入会員様

私たちは皆様のご協力で
福祉活動を行っています。
心から御礼申し上げます。

◆会員(議決権なし/寄付金あり)

- ・石原勝明様
- ・多田和弘様

誰もが地域で
あたりまえに暮らせるために

壁掛け用の鏡を探しています



本部キッチンの手洗い場の壁に掛けていた鏡が割れてしまいましたので、ご家庭で不要になった壁掛けサイズの鏡がありましたら、よろしくお願いたします。

※写真はイメージです

今月もみなさまから寄贈をしていただきました。ご協力に感謝しています。ありがとうございます。
(とむての森 スタッフ一同)

- 宮林 幸子 様
・ティッシュペーパー・トイレトペーパー・ウエス・空気入れ
- 瀬口 春華 様
・トイレトペーパー・ティッシュペーパー・アルミ缶
- 馬淵 由美 様
・トイレトペーパー・アルミ缶・リングプル・ボトルキャップ

- 高田 涼子 様
・ボトルキャップ・ブランケット
- 安藤 初男 様
・ゆでたまご
- 西川 美由紀 様
・アルミ缶
- 佐藤 志津 様
・衣類
- 佐藤 知江 様
・毛布
- 小椋 利枝 様
・おもちゃ

- 斎藤 勝義 様
・野菜
- 柴山 ひみ子 様
・アルミ缶
- ローソンひかり野店 様
・牛乳パック
- 本田 千鶴子 様
・アルミ缶
- 石原 麻由美 様
・リース ・ウエス
- 大橋 馨 様
・アルミ缶 ・洗濯洗剤

- 亀田 祐美子 様
・アイス
- 浜元 みゆき 様
・ジュース ・折り紙 ・本
- 西島 咲織 様
・ボトルキャップ
- 亀谷 克己 様
・カルピス ・ゼリー
- 川淵 慶一 様
・野菜



●日本財団様が運営している「夢の貯金箱」は、みなさんの「夢」を集めて大きくし、本当に支援を必要としている人たちに届ける貯金箱です。(日本財団 パンフレットより)
とむての森では本部隣のベーカリーカフェ ローフ前に「夢の自動販売機」を設置しています。この自動販売機で飲み物を購入すると、1本につき10円が、夢の貯金箱に寄付される仕組みとなっています。みなさん、近くにお越しの際は、ぜひご協力をお願いいたします!



●とむての森はイオン北海道(株)イオン北見店様の「イオン・デー」に実施されている「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録をさせていただいています。毎月11日は「イオン・デー」です。イオンで買い物をして、黄色いレシートを「とむての森」のBOXに入れてください!! よろしくお願いたします。

●会員募集
私たちは皆様のご協力で福祉活動を行っています。

- ・とむての森のサービスを利用してみたい方。
- ・ヘルパーの仕事をしてみたい方。
- ・応援してくださる方

正会員 7,000円/年 (総会議決権あり)
会員 2,000円/年 (総会議決権なし)
ボランティア 2,000円/年 (総会議決権なし)
賛助会員 一口 3,000円/年 (総会議決権なし)

※詳しくはお問い合わせ下さい

ふれあい@とむてホーム

・本部・ホームヘルプサービス事業所「どんぐり」・移動支援事業所「とろっこ」・就労支援事業所「すてっぷ」
・ふれあいホーム「のびのび」1号館・地域たすけあい&とむてサロン「きっじゅ」

北海道北見市公園町166番25 TEL.0157-32-8715 FAX.0157-32-8716
携帯 080-1892-4918 MAIL tomute-m.agate@docomo.ne.jp

ふれあい@あったかホーム

・ベーカリーカフェ ローフ・生活支援事業所「ほっぷ」・studioプレーメン・ふれあいホーム「のびのび」2号館

北海道北見市公園町166番29 TEL.0157-32-8715 FAX.0157-32-8716

ふれあい@しゅんこうハウス

・日中一時支援事業所「つくしんぼ」・ふれあいホーム「のびのび」3号館

北海道北見市春光町1丁目24-9 TEL.0157-32-8715 FAX.0157-32-8716

こうえんハウス

・放課後等デイサービス事業所「にんぐる」・相談支援事業所「リーふ」

北海道北見市公園町137番48 TEL/FAX.0157-22-8771

ほくおうハウス

・放課後等デイサービス事業所「の一む」

北海道北見市北央町90番地8 TEL/FAX.0157-24-8003

みわハウス

・生活支援事業所「ほっぷ」・手作り雑貨専門店SAI

北海道北見市西三輪3丁目746-27 TEL.0157-33-5025

